■菅井汲　　画家，版画家。戦後逸早く渡仏し，世界的評価を得た。
すがいくみ
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝　　神戸市東灘区御影町に生まれる。生後しばらくして養家にあずけられる。

原敬首相暗殺1921＝ 2歳：

治安維持法・1925＝ 6歳：生家にもどり御影小学校に入学する。

共産党事件・1928＝ **9歳：**油絵を始める。

海軍軍縮条約1930＝11歳：心臓弁膜症のため，約二年半病床生活をおくる。
満州事変・・1931＝12歳：

国際連盟脱退1933＝14歳：大阪美術学校に入学するが，まもなく退学。

日中戦争始・1937**＝18歳：**阪急電鉄の宣伝課で商業デザインの仕事に携わり，

日米開戦・・1941＝22歳：

敗戦・・・・1945＝26歳：<敗戦>まで続けた。
新憲法公布・1946**＝27歳：**
新憲法施行・1947＝28歳：この年より約1年間，**_日本画家中村貞以に学ぶ。**
極東裁判決・1948＝29歳：この頃，**_エルンスト，クレー，ミロの作品に関心を寄せる。吉原治良の推めで二科展に出品するも落選。**
三大事件・・1949＝30歳：この年より3年間，小学校検定教科書の挿絵の仕事に携わる。
_美術雑誌でポロックやコルダーを見て，強烈な感動を受け，渡米の夢をもつ。
独立回復・・1951＝32歳：
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝33歳：**_渡仏。美術研究所グランド・ショミエールに通い，ゴエルグの指導を受ける。イタリア人画家パォロ・ヴァロールズ，また田淵安一，今井俊満，金山安喜，岡本太郎らと親交を結ぶ。初めて作品が売れる。**
ﾃﾚﾋﾞ放送始・1953＝34歳：ヴァロールズ・田淵・今井とともに4人展を開く。
自衛隊発足・1954＝35歳：**_彫刻家タジリ・シンキチの紹介で，クラヴェン画廊と契約，個展を開く。詩人のランベール，作家マンディアルグを識る。藤田嗣治と二人展を開く。**
55年体制始・1955**＝36歳：**この頃から，リトグラフを始める。
なべ底不況・1957＝38歳：**＊パリ，ニューヨークで個展。これを境に作品の画面が変化，今までのデリケートな作風に代って，大きなマッス，大胆な筆触があらわれる。東京国際版画ビエンナーレ第1回展にリトグラフ2点を出品，日本に菅井作品が初めて紹介される。ランベール詩集「はてしない探究」の挿絵を描く。サロン・ド・メエに出品。**
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝39歳：ミラノ・ローマ・ヴェニスに遊ぶ。**_パリ・チューリッヒで個展。ブリュッセル万国博に出品。**
美智子妃・・1959＝40歳：**_カッセル第二回ドクメンタ展に出品。リュブリアナ国際版画展でザグレブ近代美術館買上げ賞。サンパウロビエンナーレ展に出品。**
安保闘争・・1960＝41歳：**＊東京国際版画ビエンナーレ展で東京国立近代美術館賞。「Le Musee de Poche」叢書でマンディアルグ著「SUGAI」が刊行される。ハンブルグのマーガリン協会のビルディングの壁画を制作する。ドイツのレーヴェルクーゼン国立美術館で回顧展。以後，欧米各地で毎年のように個展を開く。**
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝42歳：**_グレンヒェン色彩オリジナル版画国際トリエンナーレ展で大賞。毎日日本国際美術展で優秀賞。リュブリアナ国際版画展で第三席賞。**
全国総合計画1962＝43歳：より図式化された簡潔なものへと変り始める。**_ヴェニスビエンナーレでデーヴィッド・ブライト基金賞。**
TV宇宙中継始1963＝44歳：ハノーヴァーで回顧展。
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964**＝45歳：**スイスのグレヒェン画廊の個展出品作がほとんど抽象的な仕事で，以後ますますその傾向を強くする。ニューヨークでの個展の場であったクーツ画廊が閉鎖され，これより作品発表はヨーロッパが中心となる。
大学紛争始・1965＝46歳：**_サンパウロビエンナーレ展で外国作家最優秀賞。東京国立近代美術館の「海外在住日本作家」展に出品。**
いざなぎ景気1966＝47歳：**_クラコウ国際版画展で大賞。文部省芸術選奨。東京国際版画ビエンナーレ展に出品。**
美濃部都知事1967＝48歳：**_パリ郊外で交通事故に遭い，奇蹟的に命をとりとめる。**
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝49歳：**＊ギブスのまま退院。以後，助手の協力得て設計図に基き制作。東京国立近代美術館の壁画制作に専念。**
全共闘・・・1969＝50歳：**_パリ青年ビエンナーレ展の国際審査員。東京国立美術館の壁画制作のため18年ぶりに帰国。京都の京都国立近代美術館で日本初の個展開催。シルクスクリーンを始める。**
ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971＝52歳：「Festival」「Variation」の作品群の制作を始める。ウィーンで5500部のマルチプル作品を制作する。
日中国交回復1972＝53歳：**_ノルウェー国際版画展で名誉賞。ハノーヴァーのスポーツセンターに，ミュンヘンオリンピックのための作品を制作する。東京及び京都の国立近代美術館での「在外日本人作家」展に出品。**
石油ショック1973**＝54歳：**二度目の帰国。パリのヌーヴェル・イマージュ社の依頼でトランプ制作。リュブリアナ国際版画展出品。
角栄金脈辞任1974＝55歳：イギリス国際版画展，クラコウ国際版画展等に出品。
ｸｱﾗﾝﾌﾞｰﾙ事件1975＝56歳：三度目の帰国。
田中角栄逮捕1976＝57歳：「菅井汲全国展」を開催。
貿易摩擦始・1980＝61歳：四度目の帰国。菅井汲新作版画全国展を開催。
・・・・・・1981＝62歳：パリのアトリエで，大岡信と版画集の共作を試みる。
中曽根内閣・1982**＝63歳：**_吉行淳之介・原弘司・北川フラムとの対談「一億人から離れて立つ・異貌の画家・菅井汲」刊行。
角栄実刑判決1983＝64歳：日本での初の回顧展が開催され，会期中に大岡信と共同制作。
_以後，毎年のように国内で個展が開かれ，また内外の美術館の企画展への出品が続く。
ﾄﾞｲﾂ統一・・1990＝71歳：ジャン=クラランス=ランベール「菅井汲」刊行。
ソ連崩壊・・1991**＝72歳：**
55年体制終・1993＝74歳：

ｵｳﾑｻﾘﾝ事件・1995＝76歳：ジャン=リュック=シャルモー「KUMISUGAI」刊行。
・・・・・・1996＝77歳：帰国。**＊{ユネスコ通信}に最後のインタビュー掲載後，神戸の病院で没した。**

現代企画室「一億人から離れてたつ」，西武美術館「菅井汲展」，